

野生の毒キノコ



- > 危険な野生のキノコは通常、秋に入ってから最初のまとまった雨が降った後に生えてきます。
- > 野生の毒キノコは草むら、森、公園、子供の遊び場、校庭、農場、住宅周辺ではご自身の庭の芝生、コンポスト、根覆い、わらの中など、数多くの場所で見かけられます。
- > キノコは簡単に手が届き、一見おいしそうに見えるため、外出の際はお子さまやペットの様子を気をつけて見るようにしましょう。
- > 海外に住んだことのある方は、オーストラリアの毒キノコが、他国では食用可能であるキノコと外見が似ていることがあることを覚えておきましょう。
- > シロタマゴテングダケ (Death cap mushroom) は最も危険であり、致死性の肝障害を起こすことがあります。毒は加熱しても皮をむいても除去することができません。シロタマゴテングダケはオーク、ハシバミ、栗の木の周辺で育ちますが、致死性を持つキノコはどこでも育ちます。安全な食用キノコは、信頼できる八百屋、またはスーパーから購入したものに限られます。
- > 誰かが誤って野生のキノコを食べた場合、症状が出るのを待つことなく**13 11 26の毒物情報センター (Poisons Information Centre)**へ電話し、指示に従ってください。

野生のキノコを食べた後に体調が悪くなった方は、至急に医療処置を受ける必要があります。

緊急の場合は、いつでもトリプルゼロ(000)へ電話してください。

野生のキノコの毒による症状には、次のようなものが含まれます：

- > 激しい胃けいれん
- > 腹痛
- > 嘔吐
- > 吐き気
- > 下痢

症状は通常、キノコの食後3～6時間後に発生し、最長3日間続くことがあります。

最も危険なキノコは、食後最長24時間経ってから後発症状を起こすことがあります。

www.sahealth.sa.gov.au/mushroompoisoning

